

▼エジュラント錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 リルピビルリン塩酸塩 rilpivirine hydrochloride (RPV) 【分類】 抗 HIV 薬 [NNRTI]

【単位】 ▼25mg/錠

【常用量】 25mg/日

【用法】 1日1回食事中または食直後

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【その他の報告】 腎機能は PK に影響しない (Crauwels H, et al: AIDS Rev 15: 87-101, 2013)

【特徴】 ジアールピリミジン誘導体で、HIV-1 の野生型株及び既存の非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤に耐性を示す臨床分離株に対して抗ウイルス活性を示す NNRTI。極めて水溶性が低く、食後投与が必須。

【主な副作用・毒性】 免疫再構築症候群、食欲不振、悪心、頭痛、不眠、めまい、悪夢、発疹、疲労、低 Na 血症など多数

【吸収】 空腹時には BA が低下するので、必ず食後に投与 (Crauwels HM, et al: J Clin Pharmacol 53: 834-840, 2013) pKa=5.6 で酸性下で BA がよい (Usach I, et al: J Int AIDS Soc 16: 1-14, 2013)

【tmax】 4.4hr (1)

【代謝】 CYP3A により代謝 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1%未満 (1) 尿中に 1%未満、糞便中に 25%回収 (Usach I, et al: J Int AIDS Soc 16: 1-14, 2013)

【CL】 11.8L/hr [女性で低い] (Usach I, et al: J Int AIDS Soc 16: 1-14, 2013)

【t1/2】 46~90hr (1) 50hr (抗 HIV 薬治療ガイドライン 2012) 47.7hr (Usach I, et al: J Int AIDS Soc 16: 1-14, 2013)

【蛋白結合率】 99.7% [Alb] (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 402.88

【透析性】 除去される可能性は低い (1)

【O/W 係数】 LogP=4.86 [1-オクタノール/リン酸 buffer, pH7.0] (1)

【相互作用】 胃酸分泌抑制剤は吸収を低下させるため併用禁忌 (1) リファンピシン、胃酸分泌抑制薬 [PPI, H2B] は吸収率を低下 (Ford N, et al: HIV AIDS (Auckl) 3: 35-44, 2011)

【更新日】 20170123

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。